

宝塚市子どもの権利サポート委員会 令和7年度 活動報告

宝塚市子どもの権利サポート委員会
委員 羽下 飛鳥

宝塚市子どもの権利サポート委員会について

宝塚市子どもの権利サポート委員会条例により、行政機関からの独立性が確保され子どもの権利救済を図るために平成26年（2014年）11月に設置された第三者的に子どもに寄り添う専門機関。

子どもの気持ちを早期に受け止め、相談に応じるだけでなく、子どもの最善の利益を実現していくことを目的とし、関係機関との調整を行ったり、救済の申し立て等により、調査したり、関係機関への強直や改善を求めていく。

子ども自身が本来持っている力を十分に発揮できるよう、問題解決に向けた支援を行う。

相談体制（令和8年3月末現在）

委員3名 委員長 吉田 祐一郎（大学准教授・社会福祉士）
 委員 松尾 隆寛（弁護士）
 委員 羽下 飛鳥（臨床心理士・公認心理師）

相談員3名 会計年度任用職員

事務局職員1名 子ども政策課職員

（受付時間）月曜～金曜 13：00～19：00、

土曜及び第1・3火曜 10：00～17：00

（年末年始、日・祝日は休み）

相談・救済の流れ①

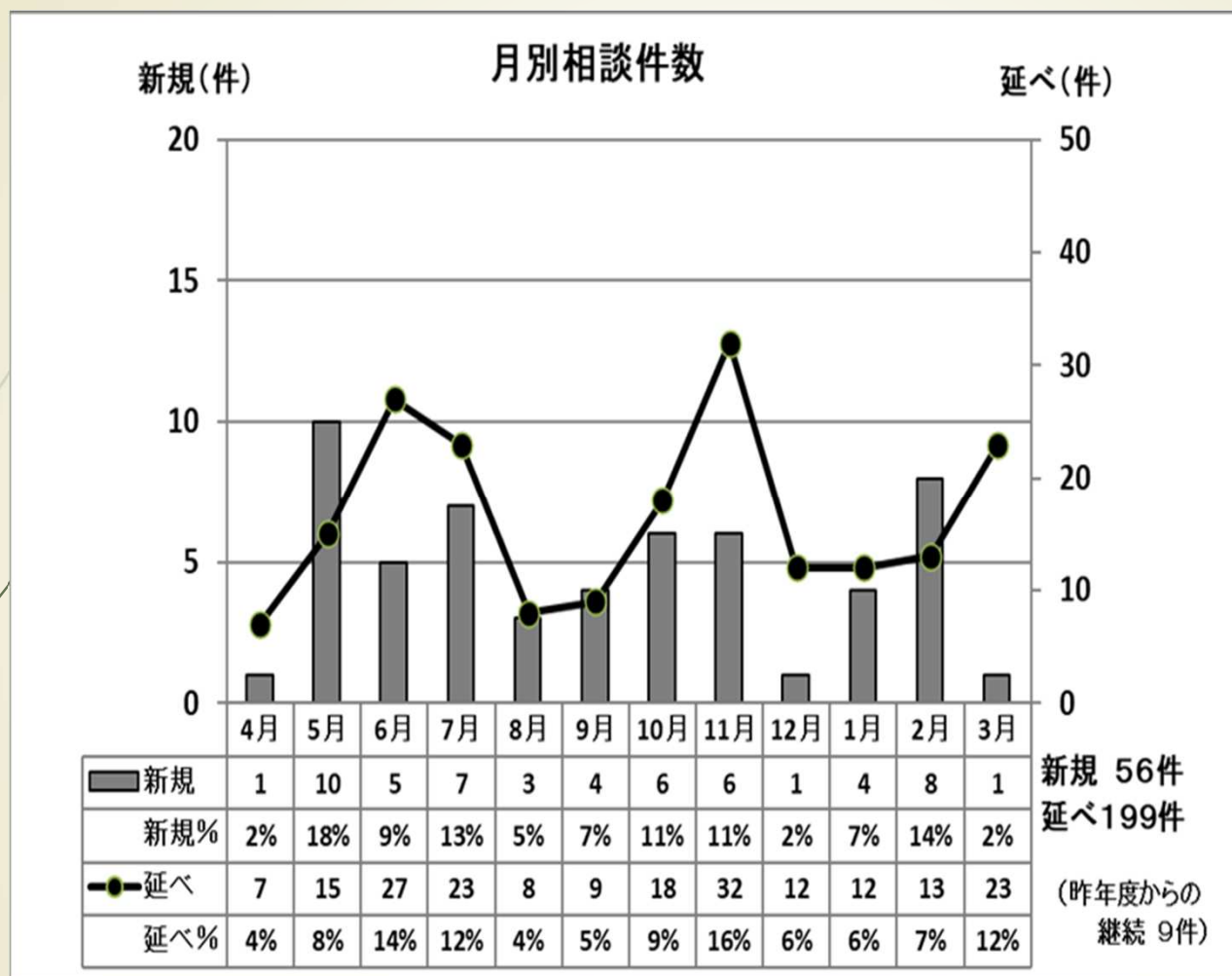
- ▶ ・最初に相談員がお話をお聴きします。じっくり傾聴し、一緒に考えていきます。相談者が自力でできることを考えたり、納得することで、相談を終えるケースもあります。
- ▶ ・相談者には、悩み事があれば、いつでも、何度でもお話を聴かせてほしいことを伝えることで、今後も一緒に考えていく姿勢でお話をお聴きします。

相談・救済の流れ②

- ▶ ・相談内容を相談員と子どもの権利サポート委員で共有し、相談者の意向に寄り添った支援への助言や、あるいは委員が直接相談者と面談を行ったのち、必要に応じて調整活動等を行います。
- ▶ ・子どもの権利サポート委員は、子どもが希望する場合は、問題に関わる人々や関係機関に対して、子どもの気持ちや意見を代弁します。子ども自身のために、関係機関の協力を得て、働きかけ、調整活動を行います。
- ▶ ・当事者等からの申立てにより、必要に応じて調査を実施し、改善の要望や意見表明などを行います。

令和7年度のサポート委員会での相談状況

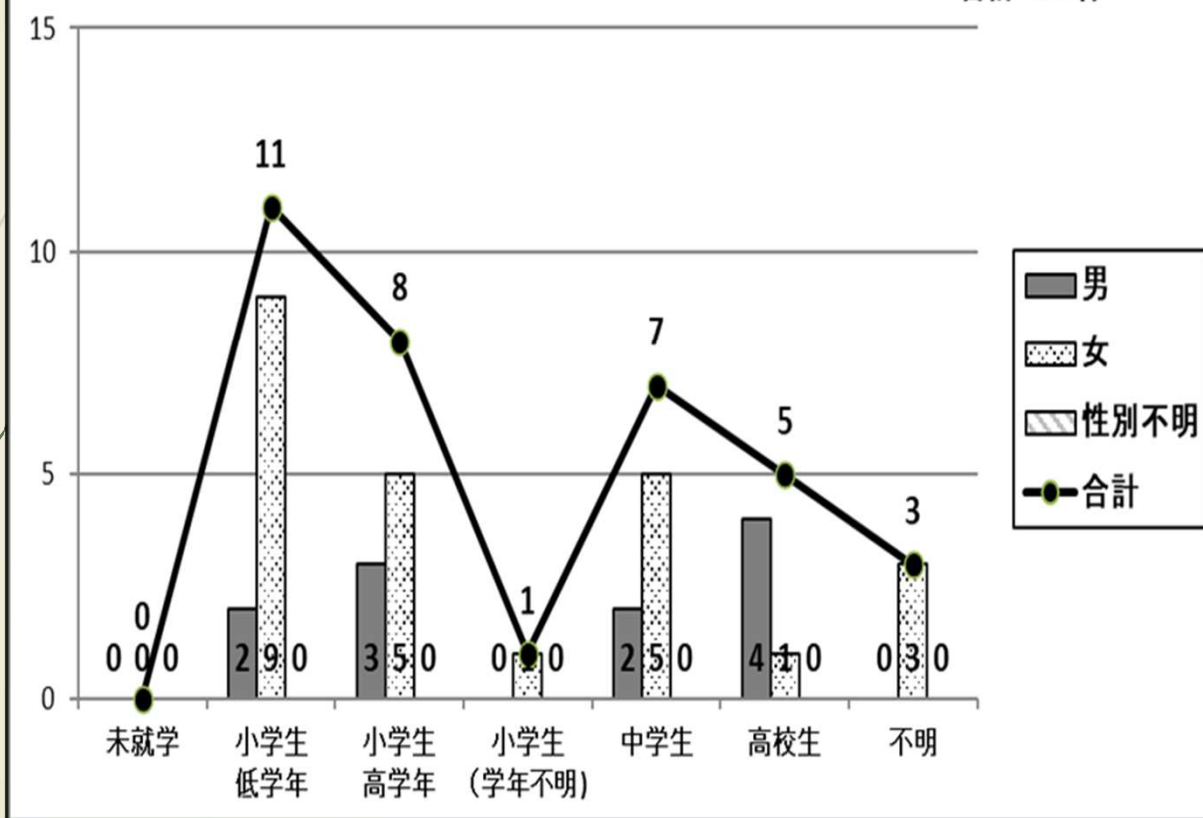




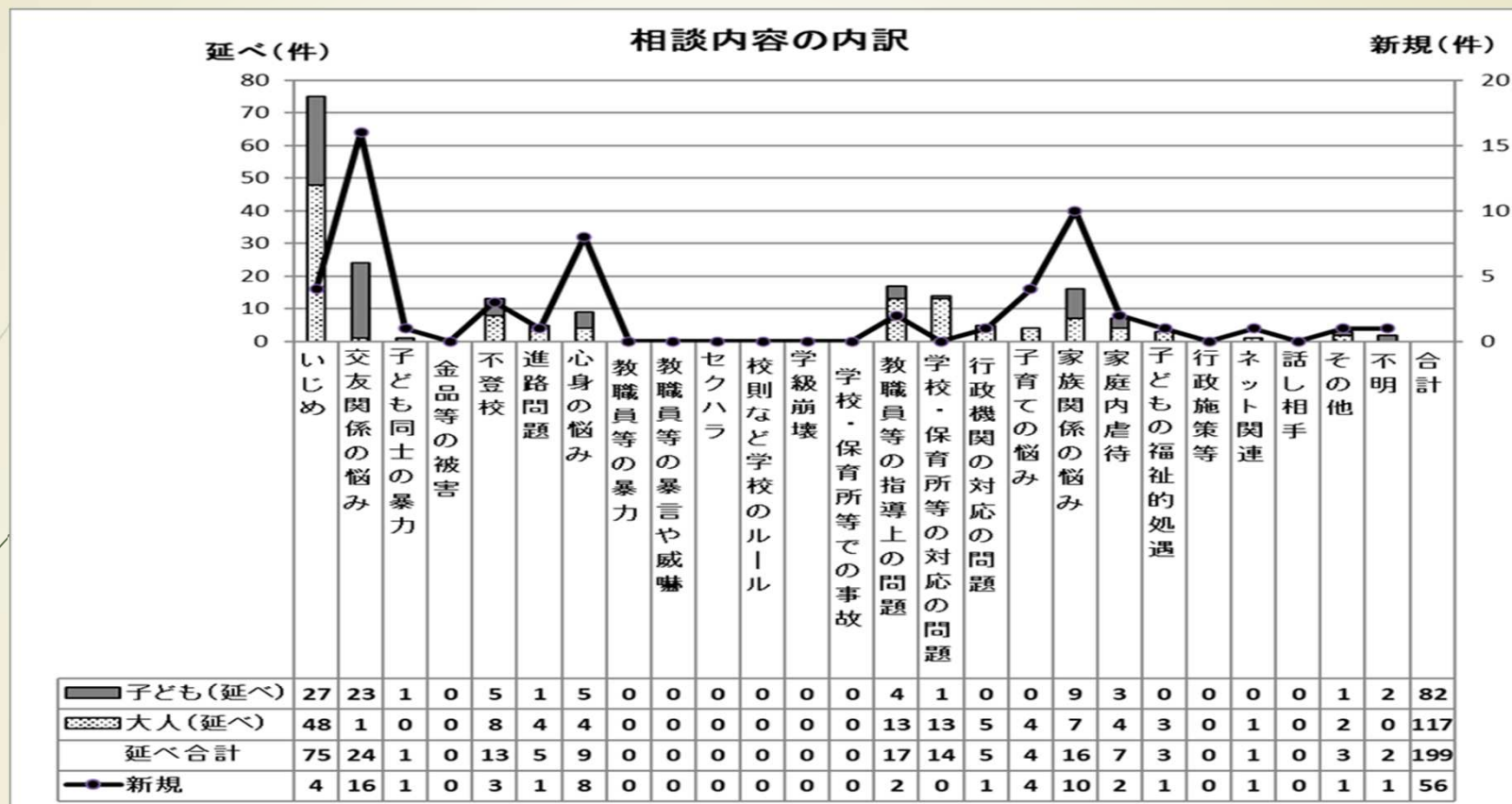
サポート委員会
だよりを
5月・9月・1月
に配布しています。

新規相談者が子どもの場合の校種及び男女等別内訳

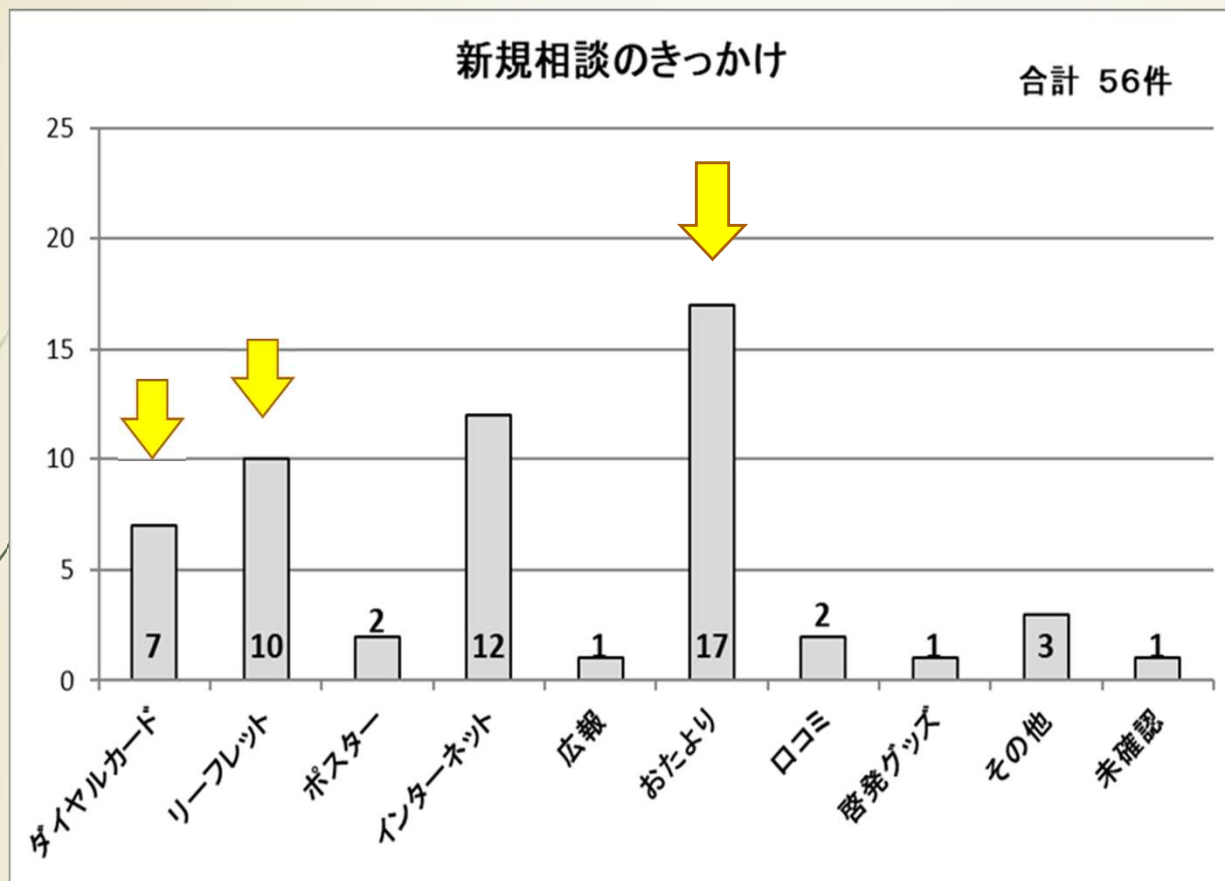
合計 35件



小学校低学年・高学年
からの相談が増えています。
新規相談の約6割が子
どもからの相談でした。




 新規相談では「交友関係の悩み」「家族関係の悩み」が多く、いじめ事案については、対応頻度が多くなっています。



子どもからの相談は、
学校を通じて配布して
いるおたよりやリーフ
レットなどの啓発物が
きっかけとなることが
多いです。

相談事例について（報告書P17～P18）

- ▶ 子どもからの相談内容で一番多いのは「交友関係の悩み」。
- ▶ サポート委員会において、本人や保護者との対話を重ね、学校への調整を行ったケース。
- ▶ 本人は集団生活における社会性の面で課題を抱えていた。
- ▶ 本人の思いや希望を丁寧に聞き取り、寄り添うよう心掛け、解決するには何が必要かといった視点を大切にした。
- ▶ 学校も同じ姿勢で本人と向き合うことにより解決につながった。
- ▶ 子どもが安全・安心な学校生活をおくるためには、学校の協力は必要不可欠。

令和7年度のサポート委員会の啓発活動



サポート委員会だよりの配布

こ けんり いんかい
子どもの権利サポート委員会
「たかラッコクラブ」だよりの
～2025年9月発行 第32号～ 小学校低学年版

みなさんこんにちは。2学期がはじまりましたね。
まだまだ暑いし、学校に行くのがしんどいな。なんとなく楽しくないな。こまったことがあ
る・・・そんなことはありませんか？
そんな時は、だれかにお話（はなし）してみてください。気持ちやすっきりするかもしれませんよ。
だれに話したらいいかわからない人は、「たかラッコクラブ」にお話（はなし）させてね。

マスコットキャラクターがきました！

子どもの権利サポ
ート委員会「たかラ
ッコクラブ」の
マスコットキャラ
クターがきました
。きてくれたのは
武庫川女子大学経営
学部1年生の学生さ
んです
。ありがとうございます
！

お知らせ
「たかラッコクラ
ブ」に新しい先生
が来てくれました
。羽下飛鳥先生です
。とてもやさしい先生
です。

0120-931-170 月～金曜日 13時～19時
(日曜・祝日・年末年始はお休みです) 土曜日 第1・3火曜日 10時～17時

住所: 〒665-0867 宝塚市売布東の町12番8号プレミア宝塚2階
相談は無料 お手紙あて先 子どもの権利サポート委員会

※お返事希望の場合は住所と名前を書いてね！

※保護者の方等の相談もお受けしていますが、解決の主体は「子ども」であることをご説明し、サポート委員会が直接子どもの話をお聞きしたいということをお伝えしています。

子どもの権利サポート委員会
「たかラッコクラブ」だよりの
～2025年9月発行 第32号～ 中学生版

2学期がはじまり、また新たな気持ちで毎日過ごしていると思います。
楽しいこともありますが一方で悩みや不安を感じることもあるかもしれません。
心が辛くなったり孤独を感じたりすることもあるかもしれません。でもどうか忘
れないでください。あなたは一人じゃありません。思春期は誰もが色々な感情を抱
くものです。しんどくなった時はどうか自分自身を大切にしてください。
みなさんの存在はとても価値があり、みなさんの笑顔や声はまわりの人にとって
大切な宝物です。子どもの権利サポート委員会はあなたの気持ちに寄り添い、支え
たいと思っています。もし辛い気持ちや悩みがあったときは遠慮せず、子どもの
権利サポート委員会に話してくださいね。話すことで気持ちが整理されたり、解決
の糸口がみつかることもありますから。

***子どもの権利サポート委員会
『たかラッコクラブ』
公式キャラクターが決定しました***
考案者は、武庫川女子大学経営学部の学生さんです
。考えてください、心から感謝申し上げます。

お知らせ
新しいサポート委員が
就任しました
。羽下飛鳥先生です
。みなさんの気持ちや考えを
理解して元気になるように
支えてくれる
心理の専門家です。

0120-931-170 月～金曜日 13時～19時
(日曜・祝日・年末年始はお休みです) 土曜日 第1・3火曜日 10時～17時

住所: 〒665-0867 宝塚市売布東の町12番8号プレミア宝塚2階
相談は無料 お手紙あて先 子どもの権利サポート委員会 現

※お返事希望の場合は住所と名前を書いてくださいね！

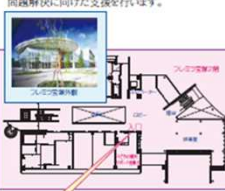
※保護者の方等の相談もお受けしていますが、解決の主体は「子ども」であることをご説明し、サポート委員会が直接子どもの話をお聞きしたいということをお伝えしています。

年齢に応じた内
容で、年3回、
学校を通じてお
配りしています

リーフレット・ダイヤルカード

宝塚市
子どもの権利サポート委員会とは
「宝塚市子どもの権利サポート委員会」は、宝塚市子どもの権利サポート委員会条例により、行政機関からの独立性が確保され子どもの権利救済を図るために設置された第三者的に子どもに寄り添う専門機関です。

宝塚市内在住・在学・在勤の18歳未満の子ども及び18歳未満の子どもが通学等である施設（高等学校、高等専門学校等）に通う19歳までの者を対象とし、子どもの気持ちを早期に受け止め、相談に応じるだけでなく、子どもの権利の救済を実現していくことを目的とし、関係機関との調整を行ったり、救済の申立て等により、調査したり、関係機関への協力や改善を求めていきます。子ども自身が本来持っている力を十分に発揮できるように、問題解決に向けた支援を行います。



子どもの権利サポート委員会
気軽に
入ってきね。

相談するには？

電話をする
0120-931-170
携帯・公衆電話からも無料です
会って話をする

直接相談室に来てください。
あなたの近くに出かけて行くこともできます。
手紙を書く
手紙での相談は下記住所まで送ってください。
(くわしくはホームページにて)

対象となる人
○宝塚市内在住・在学・在勤の18歳未満の子ども
○18歳未満の子どもが通学等できる高校等に通う19歳までの人
○子どもの相談はどなたからでもできます

相談できる曜日と時間
月曜～金曜：昼1時から夜7時まで
土曜と第1・3火曜：朝10時から夕方5時まで
(土曜・祝日・年末年始はお休みです)

場所
プレミア宝塚2階
〒665-0867 宝塚市売布束の町12番8号
阪急宝塚駅南口・中山競馬場から歩いて10分
阪急バス通社コミュニティバス前下車すぐ



宝塚市
子どもの権利サポート委員会



相談電話(無料)
0120-931-170
携帯・公衆電話OK
宝塚市子どもの権利サポート委員会

ひみつはまもります

●家族のこと
●学校のこと
●その他…
でもいいよ。
話してね。

よく考える

子どもの権利サポート委員会

●ほとんどの場合、悩みのついでに、悩みの原因や、悩みの解決策を一緒に考えていきます。
●悩みのついでに、悩みの原因や、悩みの解決策を一緒に考えていきます。

●あなたにとって一番よい方法を一緒に考えていきます。

勧告・意見表明・要請

●必要な場合は協力してもらったり、関係する人に、こうなればもっとよくなる等、改善を求めることができます。

調べる・協力を依頼する

●あなたと協力して考えたことを、関係する人に話を聞いたたりして、解決に向けて協力を依頼できます。あなたの考えや気持ちを代わりに伝えることもできます。

宝塚市
子どもの権利サポート委員会
(子どもの悩み相談)

どんなお話でもいいよ

あいている日と時間
月～金曜 13時～19時
土曜、第1・3火曜 10時～17時
年末年始、日・祝日はお休みです。



プレミア宝塚2階 (売布束の町12-8)

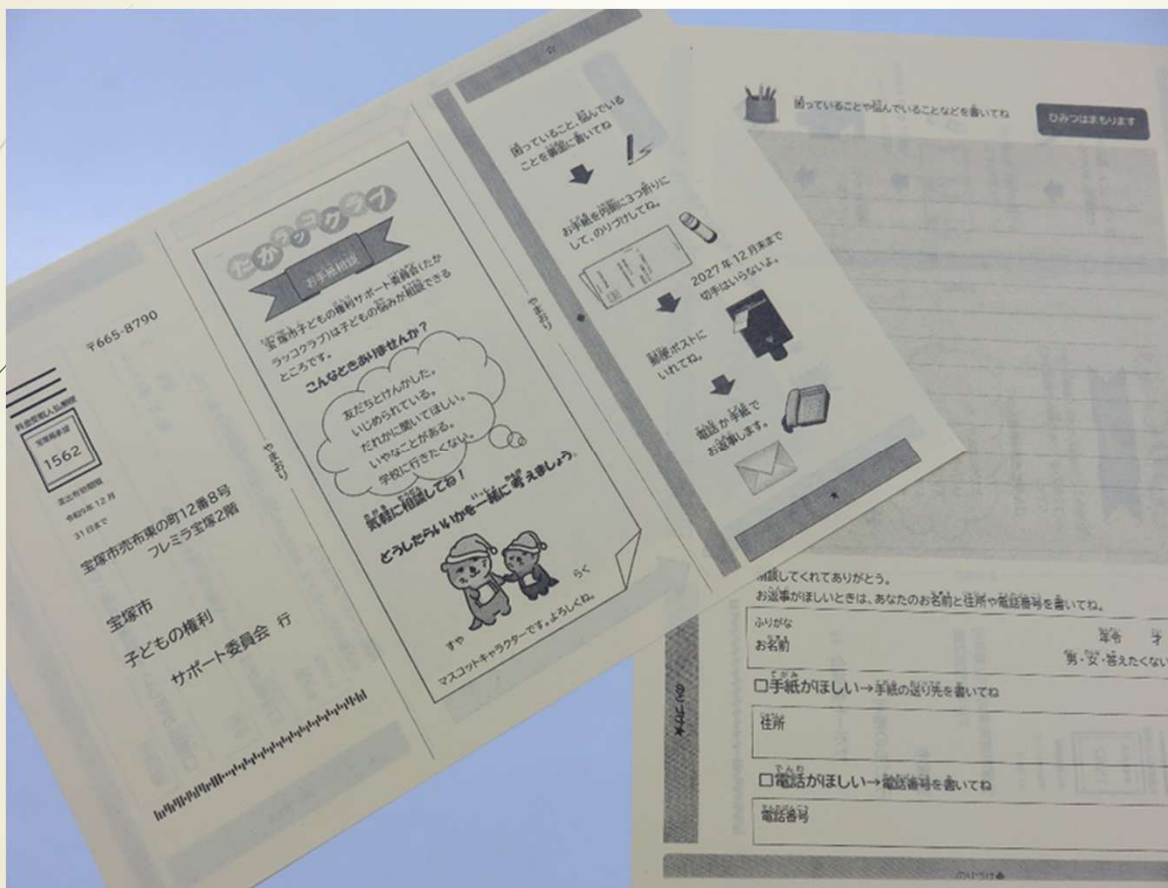
き…話してね。

ちょっと話したいと、おこられたら、お話を聞きます。お話を聞きます。お話を聞きます。

お電話でも来てくれてもいいよ！
何でもお話してね。
子どもの気持ちを大切にします。

相談電話(無料)
0120-931-170
ひみつはまもります

お手紙フォーム



相談は手紙でもできます。

お手紙フォームは啓発クリアファイルにはさんで配布しました。

図書館や公民館、児童館、人権文化センターにも設置しています。

お手紙フォームをリニューアルしたこともあり、お手紙での相談が増えました。

マスコットキャラクター誕生！

たかラッコラブ



すや

らく

子どもの権利サポート委員会の愛称（たかラッコラブ）にぴったりのマスコットキャラクターが誕生しました。

向かって左側は「すや」→眠り
右側は「らく」→安心
子どもたちが安心して眠れるようにとキャラクターの作者さんに考案していただきました。

子どもたちに「たかラッコラブ」をより身近なものとして知ってもらえるようにがんばります！

さいごに・・・

サポート委員会が大切にしていること

- ▶ 子どもに寄り添い
- ▶ 子どものチカラを信じる

相談してくる子どもが抱える課題は、さまざま・・・

「いじめられているように思う」

「学校の先生から、いやなことを言われた」

「家にいるのがしんどい」

「親との関係がしんどい」



子どもは、自分で解決するチカラを持っている。

そのチカラを引き出せるようサポートするのが、
サポート委員会の役割！

ご清聴ありがとうございました。

